



ローカル鉄道の再構築に向けた支援措置がまとめられました。

人口減少等により厳しい経営環境におかれているローカル鉄道については、さらにコロナ禍を機に一層厳しい状況下におかれており、「Mintetsu Report」で取り上げた近江鉄道をはじめ、地元自治体と今後の路線の在り方について議論を進めている事例があります。

国土交通省は有識者会議を立ち上げ、ローカル鉄道の今後の在り方について議論を進め、その再構築に向け制度を強化していく方向で、昨年7月に「地域の将来と利用者の視点に立ったローカル鉄道の在り方に関する提言」がまとめられました。

この提言を踏まえ、昨年末に閣議決定された国土交通省の令和5年度予算において、ローカル鉄道の再構築への支援に関し、社会資本整備総合交付金の基幹事業に「地域公共交通再構築事業」が

創設されるなどの措置が講じられることとなりました。具体的には、自治体がまちづくりの柱に位置づける鉄道・バスの駅や線路の整備費用が補助対象に加えられ、大手民鉄のローカル線についても支援の対象となりました。

また、ローカル鉄道の再構築等を実現するため、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律案」が国会に提出されました。



第16回「私とみんなてつ」小学生新聞コンクール表彰作品・学校が決定し、表彰式を実施しました！

日本民営鉄道協会では、2022年7月1日から9月30日まで、新聞作成を通じて子供たちに鉄道に対する関心と理解を深めてもらうことを目的に、第16回「私とみんなてつ」小学生新聞コンクールを開催しました。

(後援：文部科学省、国土交通省、全国小学校社会科研究協議会)

今回は、4,077点(応募児童数4,137名)の作品の中から厳正な審査を経て、東京都早稲田大学系属早稲田実業学校初等部6年生の富所 凜(とみどころりん)さんの作品「もうすぐ創立百周年！乗ってみて、大鉄。スマイル新聞」が個人部門の最優秀作品賞(文部科学大臣賞)に、神奈川県横浜市立義務教育学校緑園学園が学校部門の最優秀学校賞(国土交通大臣賞)に選ばれました。

厳かな雰囲気の中、2023年1月7日(土)経団連会館にて表彰式が行われました。

(詳細は https://www.mintetsu.or.jp/newspaper_contest/ にて。)



最優秀作品賞(文部科学大臣賞)

「もうすぐ創立百周年！乗ってみて、大鉄。スマイル新聞」
東京都早稲田大学系属早稲田実業学校初等部6年生
富所 凜(とみどころりん)さんの作品



表彰式の様子

「日本全国みんなてつ絵はがき大募集」 キャンペーンを実施しました！

日本民営鉄道協会では、2022年11月1日から2023年1月31日まで、みんなてつファンの醸成、鉄道利用のきっかけ作りなどを目的として、小学生以下のお子さまを対象に、加盟会社（参加68社）への絵はがきを募集する「日本全国みんなてつ絵はがき大募集」キャンペーンを実施しました。

全国から6,576通の応募があり、各社は絵はがきを駅や博物館、ホームページ等で展示・掲出をしたり、返信はがきの持参で鉄道グッズをプレゼントするなど、お子さまに喜んでいただきました。

（詳細は <https://www.mintetsu.or.jp/association/news/2023/20556.html> にて。）



募集チラシ



届いた絵はがきの一部

「地方民鉄フォトコンテスト 2022」を開催しました！

日本民営鉄道協会では、2022年7月21日から2023年1月22日まで、協会に加盟する地方民鉄56社の利用促進・活性化を目的に、『地方民鉄フォトコンテスト2022』を開催しました。

「鉄道のある風景」部門と、13歳以下を対象とした「民鉄キッズ」部門で、地方民鉄に関する写真をTwitterで募集するもので、全国から多数の応募がありました。

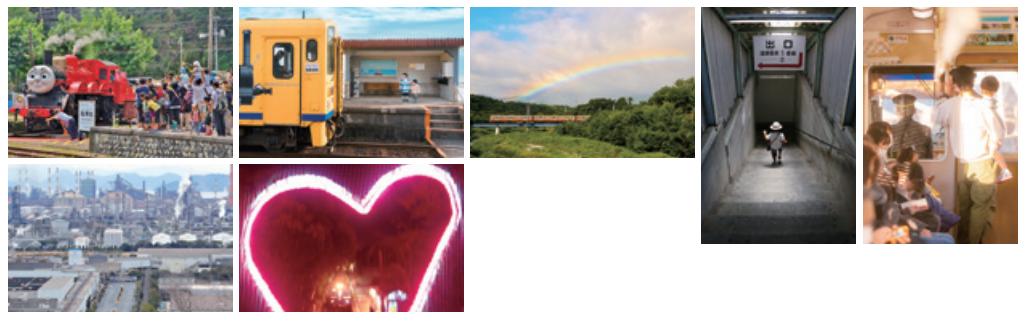
tool8441@tool8441さんの作品が大賞に選ばれたほか、各受賞作品が決定しました。

（詳細は <https://mintetsuphoto.jp/> にて。）



■ 大賞
tool8441@tool8441さんの作品
（秩父鉄道）

■ そのほかの受賞作品（タレント賞・プロカメラマン賞・特別賞）



■ 民鉄キッズわくわく賞

